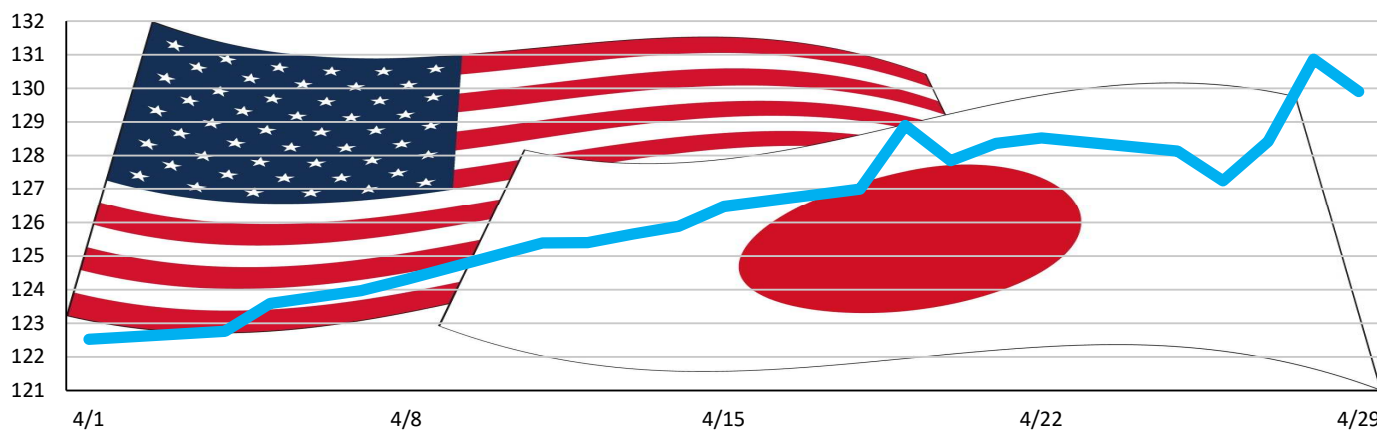


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 4月のドル円相場は121円半ば～131円前半で推移。日米金利差を意識した円安ドル高が続く中、黒田総裁の発言を市場は円安容認と受け止めドル円は約20年ぶりに126円台に到達。その後は連日円安けん制発言が聞かれるものの、欧州経済の先行き不透明感や日本の貿易収支悪化がドル買いに拍車をかけ20日には129円40銭となった。ただ日米協調介入議論に対する警戒感が高まったことや、中国国内で再び新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウン長期化を懸念した株安の流れを受けてリスク回避の動きが広がり126円台となる場面もあったが、日銀が大規模な金融政策を維持したことで円売りが加速し131円25銭まで円安ドル高が進行した。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: ドル円は約20年ぶりに131円台となり、一部で行き過ぎた円安との見方も台頭しているが、日米金利差を背景とした円売りドル買いや日本の貿易赤字拡大懸念による円売り、ロシア経済制裁の影響を受けている欧州通貨売りなど、ファンダメンタルズ的には円売りドル買いを阻止する材料は見当たらず、基本的にはこの流れが継続していくだろう。ただウクライナ問題や中国国内でのコロナ感染拡大による景気減速懸念がリスク回避の株売りドル売りの動きとなることも考えられるため、短期的な動きに注意を払いつつポジションを構築していきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
5 / 17 (火)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
5 / 24 (火)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
5 / 26 (木)	21 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
5 / 27 (金)	21 : 30	US	個人消費支出	☆☆☆☆
6 / 3 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
6 / 9 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
6 / 10 (金)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。